

研究分野のキーワード：ソーシャルワーク，コミュニケーション，ソーシャルワーク実践理論，
ソーシャルワーク実習教育

研究紹介

皆さんは、ソーシャルワークやソーシャルワーカーという言葉聞いたことがあるでしょうか？ ソーシャルワークとは、生活上の困りごとを抱えた方に対して、問題解決を図ることができるように相談援助を行う活動を指します。利用者の方と一対一での面接を行うこともありますから、一見するとカウンセリングのようにも見えますのですが、問題解決の方法として具体的な福祉サービスにつないでいくことや、心の問題だけでなく人と環境の相互作用（影響の与え合い）に視点を置いて困りごとをとらえる点がソーシャルワークの特徴です。このソーシャルワークが私の主な研究領域です。

社会福祉の現場でソーシャルワーカーは様々な人と出会います。今日寝る場所も食べ物もない人、子どもを愛せなくて苦しんでいる人、介護に疲れた人、病気の人、障害を持つ人、死の想念に取りつかれた人など、ひとりひとり固有の状況にあります。大学ではソーシャルワーカー養成を行っていますが、あらゆる場面に臨機応変に対処でき、利用者さんに明るさと安心をもたらすことができるソーシャルワーカーを養成したいと考えています。私が特に重視しているのは快く循環するコミュニケーションと意識の在り方です。コミュニケーションの方法を身に付けようとするとかく技術論に走りがちですが、コミュニケーションはとても複雑な相互作用の中で行われているため、技術として一つ一つのプロセスを追っていくと、見落とすことが出てきたり、応用が利かなかったり、技術を統合して自分のものとするのに時間がかかったりします。しかし、現場で利用者さんは「待たなし！」の毎日なのです。ですから、今すぐ実践できる快いコミュニケーションのための意識の在り方を提示し、多くの人にそれを実践していただくため、コミュニケーションの本質について日々考えています。

主たる研究テーマを申し上げますと、まず一つ目にはコミュニケーションそのものとの考え方について研究しています。二つ目には、快く循環するコミュニケーションのための意識の在り方を伝えるための説明モデルやワークの研究です。これは一つ目の研究テーマの上に成り立っています。コミュニケーションについての理解に基づいて、これまでに多くのオリジナルワークを作ってきました。授業では最新のワークを行っていますが、学生の皆さんの理解度・到達度がワークの出来栄です。三つ目に、ソーシャルワークを学ぶ学生さん、民生委員やボランティア活動をされる方々、ソーシャルワーカーやケアマネジャーが直面する課題について、どのような準備と対処が必要かを検討しています。近年では、自殺予防対策事業や傾聴ボランティア養成に係ることが多くなってきました。

以上のような関心をもって研究を進めています。人に関わり支えることに興味のある方とともに学びあうことができれば幸いです。